

## 2024年4月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総額売上高）で開示しております。

### 〔売上高 総計〕

(前年比 単位:%)

株 高 島 屋 計 ※1	+16.7	株 高 島 屋 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 計	+15.8
-----------------	-------	------------------------------------	-------

### 〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	+41.1	+8.1	株 高 島 屋 各 店 計	+17.2	+5.0
堺 店	△1.2	+2.0	岡 山 高 島 屋	△7.3	△7.7
京 都 店 ※2	+26.5	+26.9	岐 阜 高 島 屋	+16.3	+6.3
泉 北 店	△0.8	△2.3	高 崎 高 島 屋	△0.5	+0.4
日 本 橋 店	+15.0	△0.0	株 高 島 屋 各 店 お よ び 国 内 百 貨 店 子 会 社 計	+16.2	+4.7
横 浜 店	+5.4	+0.3	法 人 事 業	+15.3	
新 宿 店	+18.5	+5.2	ク ロ ス メ デ ィ ア 事 業	△4.2	
玉 川 店	△3.8	△1.2			
大 宮 店	+4.8	+14.8			
柏 店 ※3	△7.3	△1.0			

※1. 株高島屋の売上高は、株高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 京都店は「洛西店」の売上を含みます。また、2023年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+29.7%となります。

※3. 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。

### 〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	株高島屋	株高島屋 および 国内百貨店子会社		株高島屋	株高島屋 および 国内百貨店子会社		株高島屋	株高島屋 および 国内百貨店子会社
衣料品	+9.5	+8.3	食料品	+2.1	+2.4	サービス	△5.0	△4.9
紳士服・洋品	+7.7	+7.3	生鮮食品	△1.1	△1.3	その他	△9.4	△9.1
婦人服・洋品	+14.3	+12.6	菓 子	+2.5	+2.3			
子供服・洋品	△19.1	△19.0	惣 菜	+1.0	+1.0	合 計	+16.7	+15.8
その他衣料品	△2.4	△2.7	そ の 他	+5.0	+6.3			
身のまわり品	+43.4	+40.6	食 堂 ・ 喫 茶	△19.0	△17.8			
家庭用品	+8.8	+8.9	雑 貨	+25.5	+24.8			
家 具	+29.6	+27.8	化 粧 品	+21.5	+20.0			
家 電	△5.1	△5.1	美 術 ・ 宝 飾 品 ・ 貴 金 属	+32.2	+32.6			
その他家庭用品	+4.6	+5.5	そ の 他	+14.0	+12.9			

○百貨店売上高（※既存店対比）は、前年比+16.2%、2019年比+17.5%、2018年比+16.4%といずれも上回りました。

国内顧客は、気温の上昇に伴いブラウス、カットソーや日傘、帽子などが堅調に推移しました。さらに、ゴールデンウィークに向け、スーツケースなどの旅行用品にも動きが見られました。

また、インバウンドは、ラグジュアリーブランドを中心とする高額品が売上高を押し上げ、単月としては2ヶ月連続で過去最高を更新しました。

	前年比	2019年比	2018年比
店頭売上高	+16.2%	+14.1% (※+17.5%)	+12.9% (※+16.4%)
免税売上高	+209.0%	+106.6% (※+107.1%)	+112.2% (※+112.8%)
免税を除いた店頭売上高	+2.2%	+3.9% (※+7.2%)	+2.3% (※+5.8%)

○法人事業は、受注が堅調に推移したことにより、前年実績を上回りました。

クロスメディア事業は、カタログの発行時期変更等の影響もあり、前年実績を下回りました。

○5月の店頭売上高（14日までの累計）は、前年比+18.8%、免税売上高は、前年比+274.1%、免税を除いた店頭売上高は、前年比+2.2%で推移しています。